

J **apanese text**

2017年 春/夏号 日本語編



文=鈴木糸子

p.056

138年ぶりに揃う歌麿の三部作
喜多川歌麿展

「深川の雪」「品川の月」「吉原の花」から成る、喜多川歌麿の三部作「雪月花」。日本美術の定番モチーフである雪月花をテーマに、歌麿が得意とする美人画の様式を用い、江戸を代表する遊里を舞台にした、肉筆画の作品。横幅が2.5メートル以上と、浮世絵としては例外的な大きさにも圧倒される。2014年に長らく行方の分からなかった「深川の雪」が発見されたため、138年ぶりに三部作を揃え、それらを核とした展覧会が行われる。見逃せないのが、4月から行われるフリーア美術館／アーサー・M・サックラー・ギャラリーでの開催。門外不出の規定により、所蔵する「品川の月」の真筆が実際に見られるのはここだけ。「吉原の花」所蔵のワズワース・アンセーニウム美術館（米国・コネチカット、～3月26日）、「深川の雪」所蔵の岡田美術館（日本・神奈川、7月28日～10月29日）では、高精細複製画による「品川の月」で三部作が展示される。

～3月26日
ワズワース・アンセーニウム美術館
thewadsworth.org

4月8日～7月9日
アーサー・M・サックラー・ギャラリー
www.asia.si.edu

7月28日～10月29日
岡田美術館
www.okada-museum.com

(写真)

品川の月 江戸時代 喜多川歌麿
Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington D.C., Gift of Charles Lang Freer F1903.54

アニメの巨匠の軌跡も展示

THE 世界名作劇場展

～制作スタジオ・日本アニメーション 40年のしごと～

現代まで活躍し続けるクリエイターたちによって制作され、1970年代～2000年代にかけて放映されたTVシリーズ「世界名作劇場」。『フランダーズの犬』『あらいぐまラスカル』『母をたずねて三千里』『赤毛のアン』など、多くの作品が親しまれてきた。こうした名作の制作過程の資料を展示し、作品の奥深い魅力に触れると同時に、クリエイターたちの仕事ぶりを知ることができる展覧会が開かれる。人気キャラクターたちの性格や細かなサイズまで書き込まれたキャラクター設定の原画、宮崎駿氏が場面設定を担当した『赤毛のアン』のレイアウト原画、そして実力派クリエイターたちによるイメージボードや背景美術などを展示。同時に、各作品のオープニング映像と音楽も流される。学芸員による作品背景の解説や、『フランダーズの犬』に登場するルーベンス作品にまつわるレクチャーも行われ（いずれも日本語）、美術的な観点から作品の魅力を再発見できる。

3月17日～5月7日
岡山県立美術館
岡山市北区天神町 8-48
www.ohk.co.jp/event/sekaimeisaku/

(写真)

© NIPPON ANIMATION CO., LTD. "Anne of Green Gables"™AGGLA
"Peter Pan" © Great Ormond Street Children's Hospital Fund
"Lassie" © Classic Media, Inc. LASSIE is a registered trademark of Classic Media, Inc. All rights reserved. © NIPPON ANIMATION/FUJI TV
"Before Green Gables"™AGGLA

茶道の魅力に迫る2つの展示

日本文化のエッセンスを凝縮させた総合芸術である茶道。その奥深い世界に触れることができる展覧会がこの春、東京で相次いで行われる。『茶碗の中の宇宙』展は、約450年続く茶碗作りの古窯・樂家に伝わる名碗の数々を中心とした展示。実子に限らず卓越した技術を持つ者に、一子相伝で受け継がれてきた奥義によって作られる茶碗は、一点ずつ手びねりされ、一点だけ窯入れして作られる希少なもの。千利休が愛した初代・長次郎による黒樂茶碗「大黒」、本阿弥光悦の赤樂茶碗「乙御前」などを含む重要文化財の茶碗が、かつてない規模で揃う。一方『茶の湯』展は、主に15世紀から近代までの“茶の湯”美術の変遷を展覧。中国からもたらされた美術品“唐物”のうちでも最高級品を集めて楽しんだ足利將軍家から始まり、国内で創り出した茶道具や道具組みの妙を楽しむ“侘茶”の大成、茶の湯に親しんだ政財界の大物である近代数寄者たちが選び抜いた茶道具の数々まで、時代を代表する名品を通じて茶の湯の歴史に迫る。天下の武将や茶人が愛した国宝級の名碗をはじめ、第一級の茶道具ばかりが集まる稀有な機会だ。茶道についてじっくり知りたい人向けに、お得な共通チケットや、2つの会場を繋ぐ無料シャトルバスも運行予定。

『茶碗の中の宇宙 樂家一子相伝の芸術』

3月14日～5月21日

東京国立近代美術館

東京都千代田区北の丸公園 3-1

raku2016-17.jp

特別展『茶の湯』

4月11日～6月4日

東京国立博物館

東京都台東区上野公園 13-9

chanoyu2017.jp

(左)

国宝 曜変天目 稲葉天目 中国・建窯 南宋時代・12～13世紀東京・静嘉堂文庫美術館蔵 (展示期間：4月11日～5月7日)

(右)

初代長次郎 黒樂茶碗 銘大黒 重要文化財 桃山時代(16世紀) 個人蔵